

70

NAGAI LEBEN

第70期報告書

2018年9月1日から2019年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ

企業価値の向上、ナガイズムの実践。



代表取締役社長
澤登 一郎

業績や雇用、所得環境の改善などにより国内経済は緩やかに回復しているものの米国をはじめとする各国の貿易摩擦や中国経済の減速などにより景気は先行き不透明な状況で推移しております。

年々商品の付加価値を高めるとともに生産原価低減をめざし、国内外の生産体制は進化を遂げています。特に今年は国内秋田にある経年劣化した 2 工場を統合。9 月より新工場を稼働させました。これにより繁忙期における、生産の小回りを利かせ、クイックレスポンスを進化させる事により海外工場との相乗効果をさらに拡大することができました。

一方、昨年の株主総会において従来の役員退職慰労金制度廃止のご承認をいただき、今後は退職時役員に株式を付与することにより、一層の株式価値向上に努めてまいります。

私たちは今後とも「いのちの力になりたい」のスローガンのもと、ナガイズムを実践することにより、「人、企業価値、社会貢献」のバランスのとれた経営をつづけてまいります。今後も引続き変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、何を分かち合っているのだろう。

幼子の笑顔に触れたとき、私たちは癒やされたり、希望を抱いたり、その場に居合わせた人たちと、自然に同じ喜びを分かち合います。たわいない喜びのなかに、私たちは人生を生きる意味さえ見つけることがあるのです。ナガイレーベンの一世紀を超える歩みもまた、ナースはもとより、広く社会と、喜びを分かち合ってきた道のりでもありました。患者とナースの関係が、健やかに響き合う。そこに、ひとがひとに寄り添う自然な喜びが生まれます。また、看護と介護の境目がボーダレスになるなかで、それぞれが何を分かち合うかを、熟考することも大切なプロセスです。ひとがひとを看護することの素晴らしさを、より多くの人と分かち合いたい。私たちが掲げる活動目標のひとつです。



ブライトデイズ® / 資生堂との共同開発ブランド。

Bright Days®
ブライツデイズ



ブライトデイズ®/コンセプト(イメージ)写真

Beads Berry®



ビーズベリー®/新規市場を開いた白衣市場に新基軸。



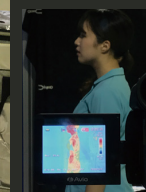
プロファンクション® / 医療従事者特有の動作を科学的に解析し独自に設計・開発。



運動時の衣服内温度の測定



着ている方が涼しい
AY 素材



東レ研究室での実験
サーモグラフィで衣服内の温度を
測定

ソフトな伸縮性、なめらかで上質
な表面感。着る人を美しく上品に
見せる素材です。特殊な糸使いに
よる透気性と触れるとひんやりす
る触れ心地により、動いても着て
いる方が涼しい画期的な“カラー
シュニッタ”。

New Song® ./ 素材メーカーと素材から共同で研究開発。他社に先駆けた革新的なカラースクラブ。

連結業績ハイライト Business Highlight

第70期決算の概要

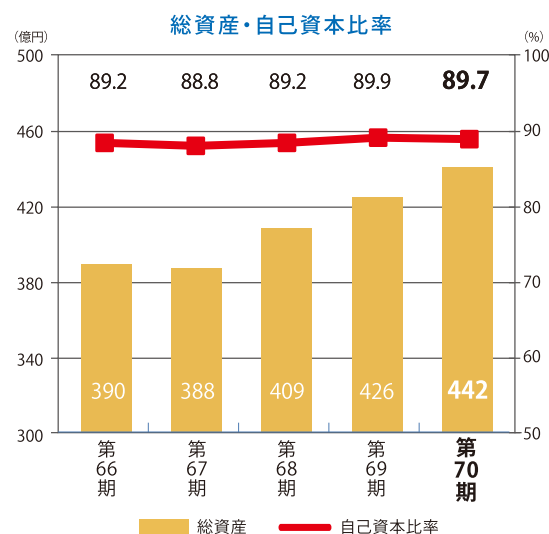
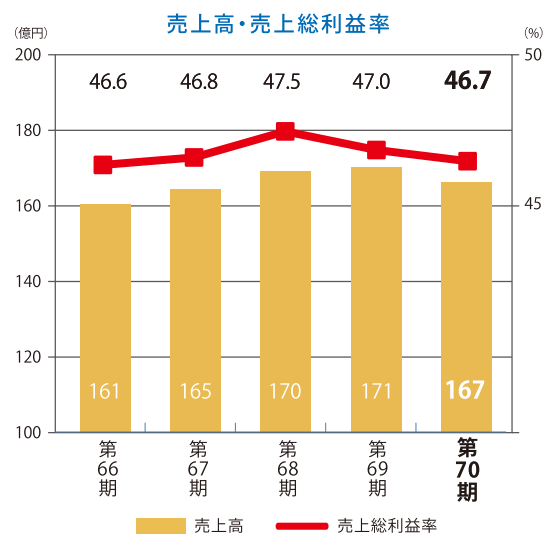
売上高	167億円	前年同期比 3億円減
売上総利益率	46.7%	前年同期比 0.3ポイント減
営業利益	49億円	前年同期比 3億円減
当期純利益	34億円	前年同期比 2億円減
総資産	442億円	前年同期比 16億円増
自己資本比率	89.7%	

医療・介護業界におきましては、6年に一度の診療報酬・介護報酬の同時改定が2018年4月に実施され、社会保障費増加抑制の政府指針に基づき診療報酬は前回に引き続きマイナス改定となりましたが、診療報酬本体及び介護報酬がプラス改定されたことで市場は落ち着き感を取り戻し、ほぼ安定した市場環境にて推移したものと推察されます。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェアにおいて高付加価値商品は順調に推移したものの、下期の更新予定物件の一部に来期へのずれ込みが発生し、また患者ウェアも新規取引先の本格導入が来期となるなどの影響が大きく、167億85百万円(前年同期比3億円減)の売上高となりました。

なお、当期における特殊要因として、国内縫製工場(ソーイングセンター)の新設に伴う減価償却費の増加や不動産取得税の発生、及び役員退職慰労金制度廃止に伴う功労金の発生という一過性費用の発生がありました。

主な経営指標



来期の業績見通し

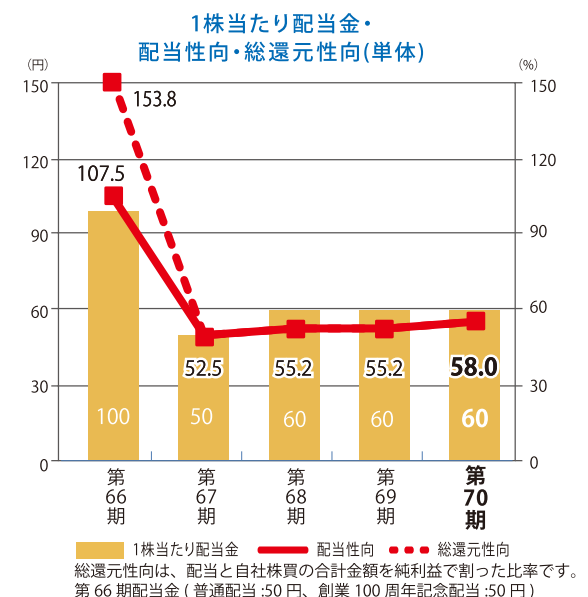
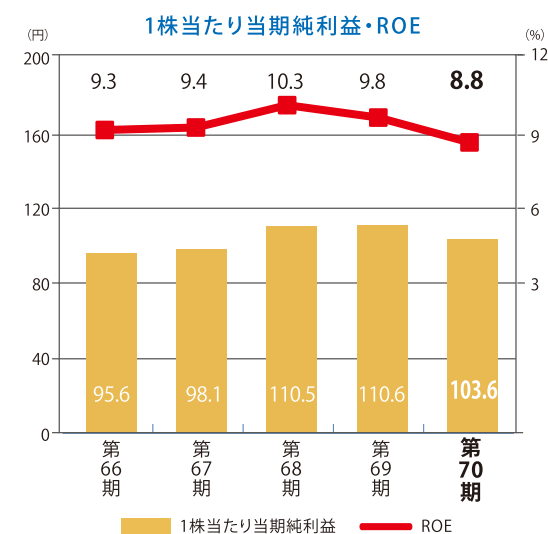
売上高	174億円	前年同期比 3.7%増
営業利益	51億円	前年同期比 5.1%増
当期純利益	36億円	前年同期比 4.6%増

医療・介護業界におきましては、薬価基準の引下げ方針や10月からの消費税増税に対応した診療報酬及び介護報酬への反映が経営実態にどのような影響を与えるか不透明感も強く、業界は混沌とするものと思われます。

当社グループといたしましては、このような状況下ではあるものの、ヘルスケアウェアにおいて前期からずれ込んだ更新物件も含め確実に受注に結び付けるべく顧客ニーズに適合したここ数年の高付加価値戦略の強化を推進するとともに患者ウェアの新規取引による増収を加え、過去最高の売上高達成を目指してまいります。

経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略 ● 看護・介護等コア市場の深耕 ● 患者・手術等周辺市場の拡大 ● 海外市場の開拓 - 日本での当社ビジネスモデルを東アジアに展開
安定供給に向けた生産戦略 ● 国内縫製新工場の稼働 - 国内生産体制の強化 - QR・小ロット多品種生産への対応力強化 ● 素材メーカー・商社との取り組み強化
収益力安定に向けた戦略 ● 高付加価値戦略による事業収益性の確保 ● 国内素材から海外素材への移管着手 ● 国内縫製から海外縫製へのシフト ● 使用原材料の有効活用の推進



Financial Statement

貸借対照表

科 目	前期末	当期末
	2018年8月31日	2019年8月31日
(資産の部)		
流動資産	33,220	35,054
固定資産	9,422	9,226
資産合計	42,643	44,281
(負債の部)		
流動負債	3,346	3,494
固定負債	951	1,065
負債合計	4,297	4,559
(純資産の部)		
株主資本	38,051	39,518
その他の包括利益累計額	293	202
純資産合計	38,345	39,721
負債純資産合計	42,643	44,281
1株当たり純資産	1,153円38銭	1,194円54銭

株主資本等変動計算書

科 目	前期末	当期末
	2018年8月31日	2019年8月31日
株主資本合計(期首残高)	36,370	38,051
当期変動額	1,681	1,467
株主資本合計(期末残高)	38,051	39,518

(2019年8月31日現在)
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、現金及び預金12億27百万円の増加、受取手形及び売掛金4億13百万円の増加、電子記録債権1億10百万円の増加により、前期比18億33百万円の増加となりました。

Point

固定資産は、建物及び構築物の減価償却費等で、前期比1億95百万円の減少となりました。

Point

資産合計は前期比16億37百万円の増加となりました。

Point

株主資本は前期比14億67百万円増加いたしました。株主還元として、19億94百万円の配当金の支払を実施いたしました。

損益計算書

科 目	前期末	当期末
	2018年8月31日	2019年8月31日
売上高	17,144	16,785
売上原価	9,093	8,944
売上総利益	8,050	7,840
販売費及び一般管理費	2,786	2,922
営業利益	5,264	4,918
営業外収益	115	111
営業外費用	41	38
経常利益	5,338	4,990
特別利益	0	11
特別損失	0	13
税金等調整前当期純利益	5,338	4,988
法人税等	1,662	1,543
当期純利益	3,675	3,445
1株当たり当期純利益	110円57銭	103円61銭

キャッシュ・フロー計算書

科 目	前期末	当期末
	2018年8月31日	2019年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,009	3,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,244	△1,605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,994	△1,994
現金及び現金同等物の増減額	768	△172
現金及び現金同等物の期首残高	4,662	5,430
現金及び現金同等物の期末残高	5,430	5,257

Point

販売費及び一般管理費は、当期の特殊要因である役員退職慰労金制度の廃止に伴う功労金等が発生し、前期比1億36百万円の増加となりました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは34億33百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、預金の払戻に対する預入の超過支出、有形固定資産の取得などで16億5百万の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(19億94百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は52億57百万円となりました。

SDGsに向けた考え方 Social Responsibility

2015年、国連総会において貧困や不平等、不公正の撲滅、気候変動への対応など2030年までに達成すべき目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。

新興国だけではなく先進国などあらゆる国と地域が、2016年~2030年の15年間で達成するために掲げた国際目標として、持続可能な世界を実現するための17のゴール(大きな目標)と、それらを達成するための具体的な169のターゲットから構成されています。

当社は、「ナガイズム」の行動指針のもと、「人」「企業利益」「社会貢献」が、バランスよく熟成してこそ、社会に求められる企業集団になると考えており、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現を目指していきます。



“いのちの力になりたい”

- 衣を通じて、医療の現場をサポート
- 医療の現場が求める特別な機能性、感性の実現

3 すべての人に健康と福祉を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

社会への還元

- ナガイズムの精神にもとづき、事業で得られた利益をさまざまなステークホルダーに還元

2 飢餓をゼロに

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナシップで目標を達成しよう

環境

- 病院向けに環境配慮商品「コンベルパック」開発・販売
- 環境を配慮した業務体制 ISO14001取得

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

企業市民としての社会的責任

- 企業市民としてまた株式上場企業として、企業倫理・コンプライアンスの遵守

5 ジェンダー平等を實現しよう

8 働きがいも経済成長も

16 平和と公正をすべての人に

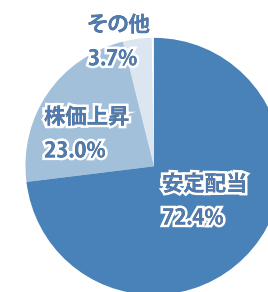
株主さまアンケート Survey Results

株主さまアンケート結果(前回実施)のご紹介

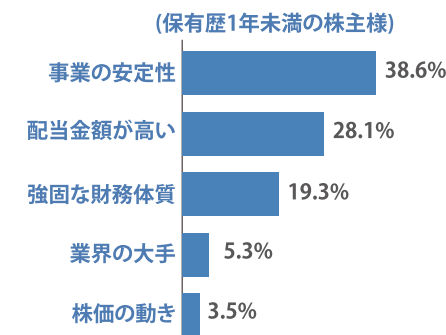
毎回、本誌と一緒に送っておりますアンケートはがきに、多くの株主の皆さまよりご回答をいただいております。当社は株主の皆さまからご満足いただけるよう、アンケートを通じて集まりましたご要望等は、できることから対応をさせていただきます。

集 計 結 果

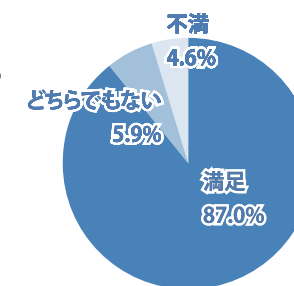
当社株式の保有目的は何ですか？



当社株式を新たに購入あるいは買い増しの際、重視した点は何ですか？



当社への評価を教えてください。

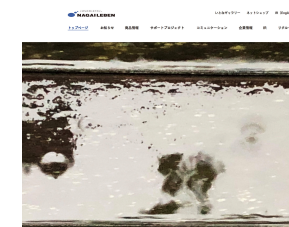


当社に対するご要望等

会社の状況を理解できるように情報を定期的に提供してほしい。

今回の株主総会より、招集で通知を従来の体裁から変え、当社の現状等の参考資料を追加し、また見やすくいたしました。

また、当社のホームページでは、アナリストや機関投資家向けに、半期ごとに開催している決算説明会の資料や音声配信なども掲載しております。



<https://www.nagaileben.co.jp/>

会社概要 Corporate Outline

商 号	ナガイレーベン株式会社			(2019年11月21日現在)
本 社	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号			
設 立	昭和25年7月20日			
資 本 金	1,925,273,475円			
社 員 数	120人(グループ従業員数511人)			(2019年8月31日現在)
役 員	代 表 取 締 役 社 長	澤 登 一 郎		
	常務取締役 経営企画本部長	斉 藤 信 彦		
	取締役 業務本部長	朝 井 克 司		
	取締役 企画本部長	山 本 康 義		
	取締役 営業本部長	新 谷 欣 哉		
	取締役 管理本部長	徳 江 健		
	取締役 常勤監査等委員	荻 野 和 孝		
	社外取締役 監査等委員	城 見 浩 一		
	社外取締役 監査等委員	三 嶋 浩 太		

主な事業所

本社

ナガイレーベン物流センター

ナガイレーベン第2物流センター

ナガイレーベン西日本物流センター

北海道支店 東北支店

名古屋支店 大阪支店

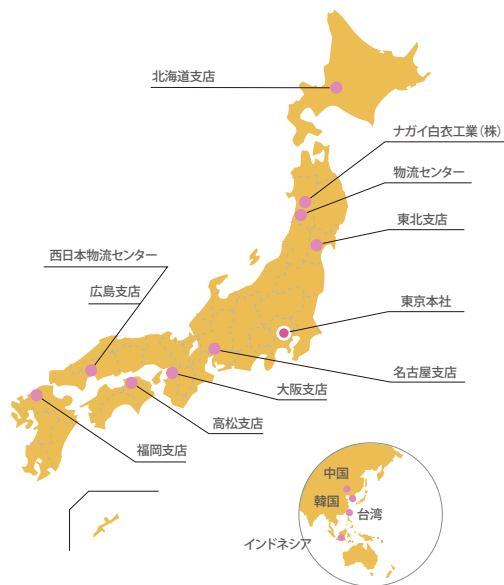
広島支店 高松支店

福岡支店 台北支店

注. 2019年9月から高松営業所を高松支店に名称変更いたしました。

関 係 会 社

ナガイ白衣工業株式会社



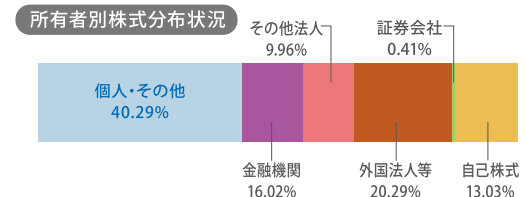
株式情報 Stock Information

株 式 情 報

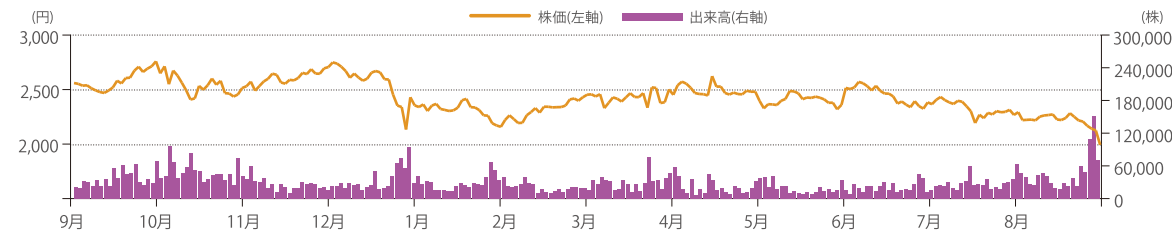
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数 (自己株式4,983,157株を除く)	33,252,843株
株 主 数	3,214名

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,780,915	17.4
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,241,627	6.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,896,200	5.7
JP MORGAN CHASE BANK 380055	1,726,834	5.2
有限会社登龍	1,455,300	4.4
澤登 辰郎	1,050,200	3.2
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	925,800	2.8
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT -CLIENT ACCOUNT	893,142	2.7
澤登 春江	623,600	1.9
水口 洋子	592,400	1.8

注1. 当社は、自己株式を4,983,157株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株 価 の 推 移



株主メモ

決 算 期	毎年8月31日
定 時 株 主 総 会	毎事業年度末の翌日から3か月以内
基 準 日	毎年8月31日
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL https://www.nagaileben.co.jp/

単 元 株 式 数 100株
銘 柄 コ ー ド 7447
上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

同 事 務 取 扱 所 日本証券代行株式会社 本店
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

郵便物送付先・
お 問 合 せ 先 日本証券代行株式会社 代理人部
〒168-8620
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話0120-707-843 (フリーダイヤル)

各 種 手 続 の
お 申 出 先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。



本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10

営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東 北 支 店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16 第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大 阪 支 店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広 島 支 店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

高 松 支 店 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

福岡支店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

台北支店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ www.nagaileben.co.jp

いとなギャラリーホームページ www.itona.jp



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-EM4600
本社

※メディカル及びヘルスケア関連アパレル製品